

令和4年度

研究構想図

土岐市立肥田小学校

【市の学校教育の方針】

- ☆「やってみたい」を引き出し、「できた」「わかった」と実感できる授業の実現
- 【市の実践課題】
- ◎子どもたちが主体的に取り組む学習指導の確立（魅力ある教材と学び方指導）
- ◎感性や創造力を発揮して、自分の考えを広げたり深めたりする協働的な学びの実現

【学校教育目標】

よく学び
たくましく
心豊かな子

【学習指導要領の理念である生きる力】

- 基礎的な知識・技能を習得し、それらを活用して、自ら考え、判断し、表現することにより、さまざまな問題に積極的に対応し、解決する力
- 自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性
- たくましく生きるための健康や体力

〈児童の実態〉

- 教科書を活用して見通しをもち、個人追究で考えを深められる子が増えてきた。
- 「根拠をもとにして話す」ことを全学年で指導してきたことで、図や式をもとにして考える子が増えてきた。
- 前学年の基礎的な知識・技能が十分身に付いていない。
- 数学的な見方・考え方を働かせ、事象を統一的・発展的に考察することに弱さが見られる。

〈願う児童の姿〉

- 授業に意欲的に参加し、算数が好きな子
- 根拠をもとに筋道を立てて考え、資料や既習の知識をうまく取り入れながら考えたことを表現できる子
- 数学的な見方・考え方を働かせ、事象を統一的・発展的に考察し、考えたことを表現できる子
- 対話的な交流活動の中で、自分から考え方を求めたり、つなげて考えようとしていたりできる子

〈研究主題〉

どの子もわかる、できる、深まる授業づくり ～対話的な活動を通して～

〈研究仮説〉児童が見通しをもって課題解決に向かうために導入の工夫を行う。さらに自分や仲間との対話的な活動を通して考えを広げたり深めたりし、自分の学びを振り返る場を設定する。このような授業を行えば、自分の考えや立場を明確にして表現する力が高まり、児童が「わかった」「できた」と実感できるだろう。算数科の授業実践を通して、次の研究内容とにより学習内容を展開すれば、願う児童を育成することができるだろう。

〈研究内容〉

研究内容1 見通しや課題意識がもてる導入の工夫

(1) 主体的な学びを生み出す事象提示と課題設定

- つけたい力を明確にする単元構想
- ・既習事項、キーワードの明確化
- ・児童の実態把握

(2) 見通しをもたせ、粘り強く取り組ませるための仕掛け

- 学習意欲を高め、学ぶ必然性のある課題設定
- ・問題提示の工夫
- ・教師の問いかけ
- ・児童の問いから課題化

研究内容2 仲間と考えを広げ深める対話的な活動の工夫

(1) 目的や方途を明確にした話し合い活動

- 個の意見や立場を明確にする個人追究
- ・既習内容を根拠にした追究
- ・図数式表グラフの活用
- ・「わからない」と言える指導
- 自分の考えを広げ深める交流
- ・実態把握をもとにした机間指導
- ・自分たちで考えを広げ深めるための話す聞く指導（問い返し）

(2) 考えを整理し、広め深める教師の手立て

- 「問い返し」「根拠を問う」発問を位置付けた全体交流
- ・実態把握をもとにした意図的指名
- ・考えを深めるための発問の精選
- ・個々の意見をつなぎ、実感を伴ったまとめを引き出す展開の工夫

研究内容3 学びを自覚し、よりよい自分を実感できる終末の工夫

(1) 単位時間内にめざす姿の定着状況の見届け

- どの子も「できた、わかった」を実感できる終末10分間の確保
- ICT機器を活用した実態把握による個別指導と評価問題の実施
- ⇒ロイロノートを活用した実態把握

(2) 学びの成果を振り返り、自己の変容を自覚する自己評価

- 「わかったこと、かわったこと」を実感できる自己評価
- ⇒振り返りカードの作成（数値＋記述評価）
- ・自己の変容に気付かせる評価内容の工夫

〈研究の基盤…授業向上部会・家庭学習部会・学習部との連携〉

【授業向上部会】「肥田小スタンダード」に基づく学び方の定着

【家庭学習部会】・音読 ・ドリル年間2周り ・週末日記 ・タブレットを活用したドリル学習

・「家庭学習の手引き」を使った家庭への啓発 ・自主的な学びや基礎・基本が定着するための家庭学習の仕方の提案

【学習部】・「学習見届け週間」の位置付け ・学習規律の指導・見届け